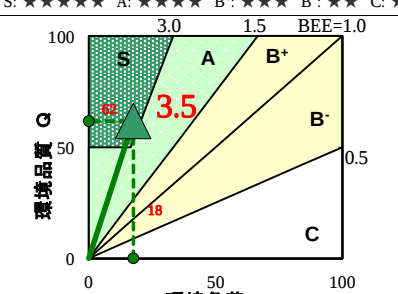
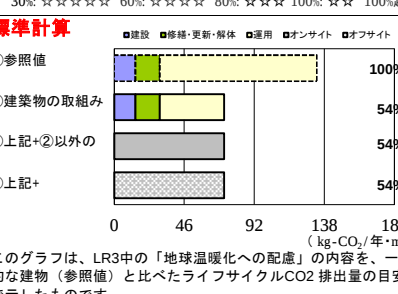
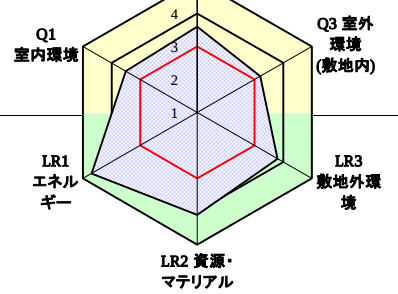
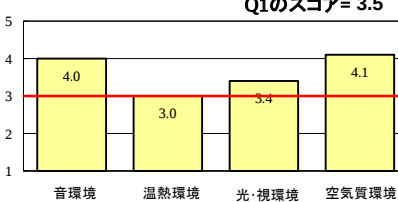
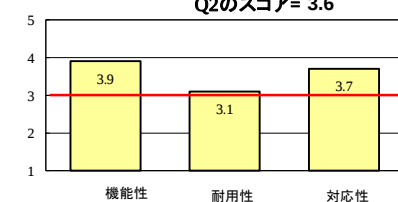
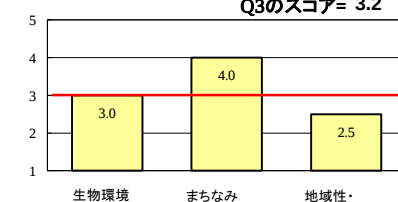
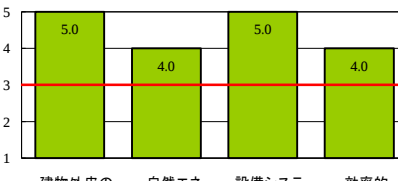
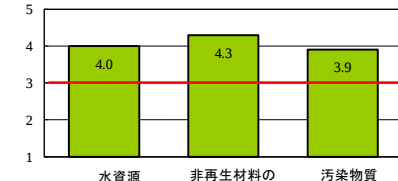
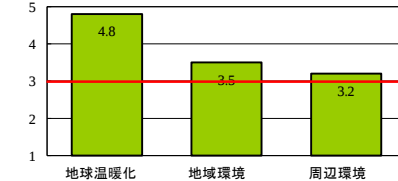


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	パナソニックエナジー株式会社(仮称)西門真地区R&D棟新築工事	階数	地上6F	
建設地	大阪府守口市八雲東町、大阪府門真市大字門真	構造	S造	
用途地域	準工場地域、準防火地域	平均居住人員	800 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025/6/30 予定	評価の実施日	2025/2/11	
敷地面積	8,181 m ²	作成者	牧野 雅一	
建築面積	4,222 m ²	確認日	2025/2/12	
延床面積	24,569 m ²	確認者	只信 一生	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=3.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.2 
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.7 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.1 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.8 

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 40<[騒音レベル] ≤45 開口部遮音性能:T-2以上。 壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.9m以上 執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設置 給水VLP(B)、排水VVP(B)、給湯SUS(C)、Eは不使用。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI=0.70。 採光利用: 照明設備に代わり、太陽光を利用した、自然採光システムが計画されている事。 BEI=0.42。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 床:ビニル床タイル、ビニル床シート、断熱材。 LGSとOAフロアを使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率54% 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版					受付番号		R6-変-0071		
大阪府の重点評価(結果)					Osakafu-新築・既存 2018V1.0				
【建物概要】		建物名称		パナソニックエナジー株式会社(仮称)西門真地区R&D棟新築工事					
		建設地		大阪府守口市八雲東町、大阪府門真市大字門真					
		用途/区分		事務所 工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価		★★★★★			S		
①		CO2削減		★★★★★			5		
②		みどり・ヒート アイランド対策		★★★★☆			3		
③		建物の断熱性		★★★★★			5		
④		エネルギー削減		★★★★★			5		
⑤		自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
				太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告							
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア		評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.8		5	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0		3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない		報告しない	
その他									
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項				
特に配慮した事項		ライフサイクルCO2排出率54% BPI=0.70、BEI=0.42。 採光利用：照明設備に代わり、太陽光を利用した、自然採光システムが計画されている事。							